

表1.2 千葉県南部の土砂災害一覧表(井上・伊藤, 2006;井上編著, 2013)

No.	現市町村	旧町村	地点名称	被害状況	河道 閉塞	崩壊 土砂 (m ³)	人的 被害 (人)	家屋 被害 (戸)	出典
26	袖ヶ浦市	中川村	富川橋	小櫃川北岸百目木より横田、山中に至る約3000mの間、川に並行して東西の亀裂が生じ階段状を形成し、川に押し出した。亀裂は、川を挟む両岸60mの間に5、6mの間隔で十数本あり、概ね、幅0.3m、深さ2m内外で、地震当時は亀裂中より噴水した。この地すべりにより、田地は荒廃し、小路、川に近い宅地に亀裂が生じ、あるいは、亀裂より噴水し、あるいは家屋を倒壊傾斜させた。	あり			あり	A
				小坪波船場付近では、小櫃川は幅20~25mで西流し、北岸(右岸)にあった竹藪が南方河道へ移動し中州のようになった。北岸にあった水車は南方に約20m押し出され、殆ど南岸に達し、波船小屋は20m押し出され、中洲の中に倒れた。一ノ榎は約12m南方に押し出され、現在は北岸に臨む。その東方の富川橋に至る間は田地に数段の階段状の亀裂を作って、南方に移動し小櫃川を閉塞した。富川橋の東の北岸では、階段状の亀裂の落差は2mに及んだ。					
27	君津市	周西村	人見	小糸川右岸に位置する人見の妙見山(妙見神社:市史には人見山とあり)は、川に面する絶壁の上部が崩壊(長さ80m、幅4~50m、6万m ³ 以上)。このため、小糸川を高さ12m、幅70m、長さ70mにわたり堰止めた。翌日より、堰止め土塊を取り除け、同日夕刻、僅かに疎水するに至り、18日に復旧。	あり	6万		あり	G
				調査当時は崩壊地頭部は長さ30m、幅6mに亘り北北西の亀裂が多く、崩落寸前であった。崩壊した部分は、ロームおよび第三紀の荒い砂岩でその下の地層は表面が僅かに崩壊したに過ぎない。頂上の妙見神社の拝殿は、南方に、籠堂は西方に倒壊し、観世音堂は南方に傾き本堂のみ倒れなかった。					A
28	君津市	小櫃村	西原・他	小櫃川は西原および賀恵淵地先において沿岸約20mの間に川に並行に階段状亀裂(長さ20m内外で断続、深さ1m、落差0.3~1m)。河岸においては、階段状亀裂が生じたために、土塊は河中に約5m滑り出した。					A
29	君津市	久留里町	浦田	小櫃川沿岸浦田において3ヶ所亀裂を生じ、土塊が河中にすべり落ちたものがある。					A
30	君津市	貞元村	釜神付近	小糸川沿岸釜神付近において、亀裂が生じ河中に土塊を押し出す。小糸川沿岸で約45m、2ヶ所決壊し交通を遮断。					AG
31	君津市	八重原村	外箕輪 ~壱師	外箕輪より壱師にわたり小糸川両岸約30mの間亀裂を生じ階段状をなして河中に崩落し、川を堰止めた。	あり				A
32	君津市	中村	練木~練田	練木より練田にわたり約2kmばかりの間、小糸川北岸に亀裂が生じ土塊は河中に崩落した。このため明治橋破壊、交通途絶。					A
33	君津市	中村	大井	大井の丘陵南斜面(海拔100m)に東西にわたり長さ200mの亀裂が生じ、南に約10m滑り落ちた。丘陵は、粗い砂岩からなり滑り落ちた亀裂に並行してほかに約3本の亀裂(幅0.5m内外)。地表の風化ロームおよび地震動のため砂岩中に生じた亀裂によって崩壊。					A
34	君津市	小糸村	大井・他	小糸川沿岸大井地先、下根本地先、行馬地先において、川に並行し幅約40mの間に数条の階段状亀裂が生じ、土塊は崩壊し河中に崩落、川を約8mにわたり埋没。	あり				A
35	君津市	秋元村	-	住家の裏山の崩壊下敷きにより死者5名。			5		G
36	富津市	竹岡村-湊町間	天神山	天神山トンネルの南北両端で山崩れ、線路埋没。特に南入口付近は長さ200mの間線路埋没するのみならず、県道上に土砂が2m以上堆積。					A
37	富津市	金谷村	鋸山	鋸山北斜面の採石場7丁場において採石場の天井墜落し、及び採掘跡が崩壊したため7名の死者発生。			7		A
38	茂原市	五郷村	陸田坂	五郷村より鶴枝村に至る陸田坂の切割(南北に長さ80m、幅4.5m、高さ9m)中北40mが両側上部より崩壊し、通路を埋没。頁岩の地表に近く風化した部分が地震のため並行して亀裂が生じ崩壊。					A
39	茂原市	鶴枝村	西湖坂	鶴枝村より東村に至る西湖坂の切割(南北に長さ50m、幅4.5m、高さ11m)中北20mの上部砂岩が崩壊し道路を埋没。下部の頁岩には崩壊は及ばず。					A
40	長南町	東村	-	村内至る所に山崩れ、亀裂、地すべり等あり。殊に川沿いの田畑原野の亀裂等最も多い。損害見積り、田畑原野10万m ² 、家屋倒壊、半壊、破壊による損害約10万円程度に達す。				あり	J
41	睦沢村	瑞沢村	-	農業被害、山崩れ、亀裂等各所に発生し、相当多額の被害を受けたが、詳細不明。					J
千葉県計					6		37	16	

【出典リスト】

A 千葉県上総下総地震調査報文	F 三芳村史	注)安房郡内の富浦町・富山町・丸山町・三芳村・和田町・千倉町・白浜町が平成18年(2006)に平成の大合併で南房総市となったが、表は変更していない
B 千葉県安房郡地震調査報文	G 君津市史通史編	
C 鋸南町史通史編	H 和田町史通史編下巻	
D 富浦町史	I 千倉町史	
E 丸山町史	J 睦沢村史	